



太陽学園

令和元年度
学校報6月号④
大仙市立
大曲中学校



7月の予定

1	月	Ⅱ期時間割開始 学校安全日 生活アンケート 滋賀県教育委員会視察
2	火	3年実力テスト
3	水	PTA 授業参観 地域学校共働会議
4	木	1年宿泊体験学習 2年職場体験学習
5	金	1年宿泊体験学習 2年職場体験学習
8	月	職員会議
9	火	地区生徒会
11	木	特別支援教育推進委員会
13	土	全県総体(~15日)
15	月	海の日
16	火	専門委員会
18	木	指導主事訪問 (社会・美術・技術・英語・特活)
19	金	文化部激励集会 大清掃 カトリン先生最終日
20	土	夏季休業開始~8/20 通信陸上~21日
22	月	保育園訪問開始~8/2 地域訪問開始(1,2年生)
24	水	仙教研大会
30	火	大仙市教職員集会



小・中英語交流授業 立派になったな~!

この春卒業した小学校から先生方が来てくださり、1年生の英語の授業と一緒に参加していただきました。なつかしい先生方と会うことができ、とてもうれしうでした。中学校の学習の成果を披露しながら、生き生きと活動する1年生を見て「立派になったな~」と褒めていただきました。下の写真は20日、26日に行った交流授業の様子です。



大曲小 三浦里子先生



東大曲小 藤原政子先生

はーるばる来たぜ和歌山♪

25日(火)から4日間の日程で和歌山県から7名の先生方が曲中を訪問し、国語・数学・理科の授業を中心に参観しました。また、週末には自ら授業を行うなど積極的に研修を行い、「生徒たちがお互いに学び合い、自分の考えをしっかりと表現できていた。」という感想をいただき、生徒の意欲的な姿に感心していました。

今回の研修で得たことを、ぜひ和歌山県の先生方に伝え、今後に生かしていただければと思います。

読み聞かせ



6月27日(木)朝の時間帯に、学級担任による「読み聞かせ」を行いました。感情のこもった読み方と心温まる絵本の内容にとっても和やかな時間となりました。

どんなお話なのか、興味津々。童心に戻り、食い入るように見えています。



読み聞かせ方にも担任の個性が表れ、生徒たちは引き込まれます。



大曲中学校の校歌が紹介されました！

文部科学省教育課程課編集「中等教育資料12月号」

…♪校歌を訪ねて♪…

秋田県大仙市立大曲中学校

校歌「よく生きよ 若人よ」

作詞 本郷 隆
作曲 佐藤 長太郎

(前略)

よく生きよ よく生きよ
そうだこの言葉は ギリシヤや孔孟の
昔から 選ばれた知者たちが
いちばやく耳をとめ
ただただその意味を聞きとるために
刻苦の生涯を歩いた人類最初の
そして 最も偉大な言葉なのだ

人類は 無数の言葉をもつゆえに
他の生き物にまさるが
人類を人類たらしめた最初の言葉を
あまり確かには知っていない
なぜなら それはこの耳にとらえるには
あまりにも大きすぎる言葉だからだ
われらはいま

さんさんとふりそそぐ光の中で
自らの中に 自らの声を聞こう
とらえにくいのが 誇らかに
力強い呼びかけの声を聞こう
人類永遠の讃歌を聞こう
よく生きよ
恵まれたこの日に
(後略)



歌詞をイメージした
レリーフ



学校近くの
豊かな雄物川の流

自己を見つめながら歌う

校訓「よく生きよ」。インパクトのあるこの5文字に込められた深い意味を問いながら歌いあげる校歌は、フルコーラス（途中で独唱や詩の朗唱が入る）だと10分を優に超え、日本一長い校歌とも言われています。

全国花火競技大会で有名な“音と光と水のまち大曲”は、雄物川と玉川の合流点に位置し、この豊かな水脈のもとに広がる仙北平野は、県でも有数の米どころです。「ふるさと豊かな自然」とともに「未来をよりよく生きようとする人類の精神力」を讃える歌詞は、中央公論元編集部長で詩人の故本郷隆氏によるもの、作曲は高

校音楽教諭の故佐藤長太郎氏が手掛けました。（両氏ともに大仙市出身。）

この校歌が初めて披露されたのは、学校創立から2年後の1965年。以来、大曲中生の心の礎となって歌い継がれてきています。毎年全校オーディションで選ばれる独唱2名と朗唱1名、そして合唱部コーラス隊が創り出す繊細な響きと、県内随一の生徒数で繰り広げるダイナミックな2部合唱が織りなす十数分間は圧巻です。



校訓に見守られながら歌う大合唱

「よく生きよ」の部分は、学校で使用しているチャイムのメロディーにもなっており、日々心に問いかけてきます。

(文責 教頭 高橋規子)